

| | | | | | |
|------|---------|-----------|-------------|------------|------|
| 講義名 | 応用経済学特論 | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 上瀬 真生 | 開講期・曜日・時限 | 後期 木曜日 4 時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 1 年生 |
| | | | | ナンバリング・コード | |

主題と概要

現在、世界中で経済的格差の拡大と貧困の広がり、そこから生じる依存症や犯罪、さらには暴力の横行が問題となっている。これは、20世紀の最後の1/4期以降、世界で広まった「新自由主義」的な資本主義の一つの帰結である。このような状況を踏まえて、改めて資本主義と自由との関係を再考しているのが、ステイグリッツ著「資本主義と自由」(原題: The Road to Freedom)である。この本を要請生とともに読み、資本主義と自由の問題を探究したい。

到達目標

「新自由主義」的な資本主義が何をもたらしたか、理解できるようになる。
経済学を基礎として資本主義と自由との関係をどのように捉えるべきか、考えることができるようになる。
以上をふまえて、今後の資本主義のあり方について自分なりの考えをもつことができるようになる。

提出課題

期末にレポート試験を課す。
キャンバスクロスをつつして提出してもらおう。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

毎回の演習で質問への回答、補足説明などを行う。

評価の基準

毎回の演習への参加度(質問や発言など) 60点満点
期末レポート試験 40点満点
合計100点満点

履修にあたっての注意・助言他

日本語のテキストを輪読形式で受講生と一緒に読み進めていく。
そのため、当然、毎回の出席とテキストの予習が必須である。

教科書

| | | | | |
|-----------|--------------------------|---------|------|---------------|
| .資本主義と自由. | ジョセフ・E. スティグリッツ著、山田 高明 訳 | 東洋経済新報社 | 2800 | 9784492315644 |
|-----------|--------------------------|---------|------|---------------|

参考図書

.なし.

その他

必要があれば、適宜演習内で提示する。

授業計画

- 「まえがき」を読む
予習: 著者ステイグリッツがどのような人物か、調べる。また、自由とは何か、発表できるように自分の考えをまとめる。(2時間)
復習: 輪読を振り返り、テキストの要点をまとめる。(1時間)
- 「第1章 序 自由の危機」を読む
予習: 第1章を読み、わからない語句を調べ、疑問点を整理する。(2時間)
復習: 輪読を振り返り、テキストの要点をまとめる。(1時間)
- 「第2章 経済学者は自由をどう考えているのか?」を読む
予習: 第2章を読み、わからない語句を調べ、疑問点を整理する。(2時間)
復習: 輪読を振り返り、テキストの要点をまとめる。(1時間)
- 「第3章 ある人の自由はほかの人の不自由」を読む
予習: 第3章を読み、わからない語句を調べ、疑問点を整理する。(2時間)
復習: 輪読を振り返り、テキストの要点をまとめる。(1時間)
- 「第4章 強制により自由に」を読む
予習: 第4章を読み、わからない語句を調べ、疑問点を整理する。(2時間)
復習: 輪読を振り返り、テキストの要点をまとめる。(1時間)
- 「第5章 一般の契約と社会契約と自由」を読む
予習: 第5章を読み、わからない語句を調べ、疑問点を整理する。(2時間)
復習: 輪読を振り返り、テキストの要点をまとめる。(1時間)
- 「第6章 自由と競争経済と社会正義」を読む
予習: 第6章を読み、わからない語句を調べ、疑問点を整理する。(2時間)
復習: 輪読を振り返り、テキストの要点をまとめる。(1時間)
- 「第7章 搾取する自由」を読む
予習: 第7章を読み、わからない語句を調べ、疑問点を整理する。(2時間)
復習: 輪読を振り返り、テキストの要点をまとめる。(1時間)
- 「第8章 社会的強制と社会的結束」を読む
予習: 第8章を読み、わからない語句を調べ、疑問点を整理する。(2時間)
復習: 輪読を振り返り、テキストの要点をまとめる。(1時間)
- 「第9章 計画的に形づくられる個人や信念」を読む
予習: 第9章を読み、わからない語句を調べ、疑問点を整理する。(2時間)
復習: 輪読を振り返り、テキストの要点をまとめる。(1時間)
- 「第10章 寛容と社会的連帯と自由」を読む
予習: 第10章を読み、わからない語句を調べ、疑問点を整理する。(2時間)
復習: 輪読を振り返り、テキストの要点をまとめる。(1時間)
- 「第11章 新自由主義的資本主義はなぜ失敗したのか?」を読む
予習: 第11章を読み、わからない語句を調べ、疑問点を整理する。(2時間)
復習: 輪読を振り返り、テキストの要点をまとめる。(1時間)
- 「第12章 自由と主権と国家間の強制」を読む
予習: 第12章を読み、わからない語句を調べ、疑問点を整理する。(2時間)
復習: 輪読を振り返り、テキストの要点をまとめる。(1時間)
- 「第13章 進歩的資本主義と社会民主主義と学習する社会」を読む
予習: 第13章を読み、わからない語句を調べ、疑問点を整理する。(2時間)
復習: 輪読を振り返り、テキストの要点をまとめる。(1時間)
- 「第14章 民主主義と自由と社会正義と公正な社会」を読む

授業形態(アクティブ・ラーニング)

| | |
|--------------------------------------|--|
| ア:PBL(課題解決型学習) | イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) |
| ウ:ディスカッション、ディベート | エ:グループワーク |
| オ:プレゼンテーション | カ:実習、フィールドワーク |
| キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) | |

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

目標 - を達成することで、主に「卒業認定・学位授与の方針」の「(1)-1 理論的・実証的な課題を研究するために必要な科学的方法を身につけていること」、および「(1)-2 研究者として、流通科学諸分野における豊かな学識と研究能力を身につけていること、または高度専門職人として、より実践的・課題解決的な能力を身につけていること」に寄与する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

毎回の演習でテキストに関する質問や発言を求める。

実務経験の有無及び活用

なし。

備考